

「4歳児・5歳児それぞれのお店やごっこ」

長島幼稚園

11月中旬の「秋のお楽しみ会」に向けて、5歳児は、9月から少しづつ準備を進めていきました。「どんなお楽しみ会にするのか」「お店をするなら、何にするのか」等、一人ひとりがいろいろな思いを出しながら相談をしました。その中で、友だちと一緒にお店をするために“自分の思いを話す”“人の思いを聞いて考える”という経験をたくさんしました。準備を進める中では、自分たちの事だけでなく、4歳児や未就園児のお客さんことを考えながら進める姿も見られ、5歳児の成長を感じることができました。その5歳児の姿に刺激を受け、4歳児も「お店やごっこ」を始めました。4歳児、5歳児、それぞれの育ちや思いが表れた、お店やさんごっこになりました。



お化け屋敷
チーム

「迷路みたいなお化け屋敷にしたい！」と、みんなで力を合わせてお化けや衝立を作ったよ。

「ここに、的を置いて…」と、出てきたアイデアを紙に書いて、チームのみんなが見て、わかるよう図にしています。

射的チーム

5歳児のお店は、自発活動の中で普段から子どもたちが楽しんでいた遊びを基に、相談して決めました。それぞれのチームで、相談し、実際にやってみて、「もっとこうしたほうがいい」等、みんなのアイデアで、どんどん進化していくお店です。

「ここからなら、小さい子も、当たるんじゃないかな？」と、想像力を働かせ、相手の事を考えながら、いろいろ試して準備を進めます。



お楽しみ会での経験
がきっかけとなって…

お楽しみ会からしばらくすると、4歳児の部屋にお店が開店しました。4歳児のお店は、それぞれが自分の作りたいものを作り、「自分だけ」のお店を作っていました。一人ひとりの思いが充分満たされることで、自分以外の人や物事にも気持ちが向いていきます。



お店で買った
食べ物
おいしいね～